

●弟に：ありがとう

私は五十代の自営業のものです。自営業である故にいつい定期検診をないしろにしてみました。

弟も心配して「兄貴、区の検診を受けてみたら？」と言ってくれるので年末受信してみると大腸が再検査となっていました。

年が過ぎて内視鏡検査になりましたがそれまでの間は不安でいっぱいでした。

病院でカメラをいれて画面を見ている医者が「あなたはツイてますね。受診がおくれたらこのポリプはもっと大きくなって内視鏡では切除できないところでしたよ。これ以上おおきかったら切開手術になるところでしたね。」と言われ胸をなでおろしました。

私に受診をすすめてくださった弟にありがとう。

●お兄さん夫婦に

ありがとう

(目黒区 T. I.)

私は五十代半ばの主婦です。幼少の時に父を亡くし、母も十年ほど前になくなりました。私は四人兄弟なのですが、父亡き後は十八歳年上の兄夫婦が私の親代わりとなって兄姉とのこされた母の生活費の面倒をみてくれました。兄姉は皆、学校も出してもらいました。

私は卒業後会社勤めしたのですが結婚して今ではとても幸せです。お舅さんの介護しながら長女の孫に囲まれ幸せなお正月をむかえさせていただきました。

今年も二人が婚約をして嫁いでゆきます。今ふと二人の思い出を子供時代から振り返ってふと思うのですが、子供を育てるっていうことは本当に心も時間も金銭的にも本当に苦労がとおかつたとおもいます。

二人の娘を育てただけでも大変だったのに兄夫婦は私たち四人兄弟の面倒を見てそして自分たちの子供も面倒みてきたのですからそれは大変な苦勞であつたらうと思います。お兄さんお義姉さん今まで兄弟孝行でできなくてごめんなさい。

私たち兄弟の親代わりで育ててくださってありがとう。今の私たちがいるのはお二人のおかげです。

おかげです。

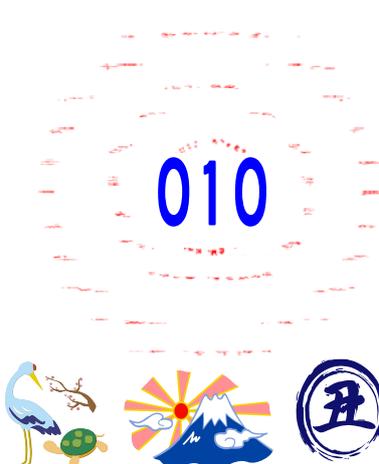
(三鷹市 M. T.)

●バイクで事故をおこしたと

そして妻にありがとう

私はとてもやんちゃな青春時代をおくりました。その頃の私は免許でバイクに乗り、暴走族の集会やりに参加して、学校へもろくに行つてませんでした。

ある日、世田谷の国道を愛車のバイクにまたがりエンジン音を轟かせながら暴走していると急に前にいたタクシーがバックしてきました。急いでハンドルを切つてブレーキを操作しますが前輪がマンホールに乗りその日は雨で



路面が濡れていることもあり、バイクは横倒しになり私もろともそのタクシーにつっこんでしまいました。

救急車が呼ばれ、パトカーが来て...。「ばかやろう命を粗末にするんじゃないか」と厳ついおまわりさんにとつかれながら救急車に乗せられ、道すがらその方にお説教され病院につくと私の足は複雑骨折してギブスをつけられ松葉杖の生活になってしまいました。バイクにも乗れず、やることも無く、もともと学校の出席日数が足りない私はしよ

うがないので学校にゆきました。しかしおかげで出席日数も足りて卒業することができました。それからバイクには乗っていません。その後、生コンの運転手などを経て電気職人として厳しい親方や先輩に仕込んでいた

きました。ツツパリの私は厳しい作業服をいつも着ていて傍目には怖い人であつたのだとおもいます。

ある日現場事務所で一人の女性にであいました。彼女は元請けの設計事務所の方で風で仕事の出来る女性って感じで...。

ツツパリのお姉ちゃんしか知らないわたしにはとても新鮮で別世界の人って感じでした。それが私の妻です。今では2人の娘と一匹の犬に囲まれマイホームも手に入れて幸せな生活をしています。子供達もまっすぐに育ててくれて私の外見よりも内面を理解してくれた妻に感謝しています。私は本当に色々な人に支えられて今まで生きてきました。ありがとう。

(横浜市 株志頼電設 代表 鈴木雄一)

●神様にありがとう

私は十二歳になる中学二年の女子です。事情があつてお母さんと一緒におじいちゃんおばあちゃんのお世話になってます。おじいちゃんとおばあちゃんのおかげで学校にもいかせてもらい、最近では学校もとても楽しくなつてきました。

年末、おばあちゃんがお掃除やお正月の準備で忙しくしていました。私はおばあちゃんに喜んでもらいたくつて、お手伝いをしました。おばあちゃんは喜んでくれました。お掃除の仕方もおせちの作り方もおばあちゃんがやさしく教えてくれてとても楽しかったです。新年早々に教会にいつてお参りをしたときに福引きをしようと欲しかった景品があたりました。うれしかったです。

「おばあちゃんに孝行したからそのご褒美だね。」みんなに言われてとてもうれしかったです。

(世田谷区 S. S.)

●出会った人にありがとう

私は自分自身を運のよい人と感じています。数年前、私には非常に苦しい時期があり、



半ば自暴自棄になりかける瞬間が多々ありました。自分の将来に希望を持ってない、他人と関わる気になれない、etc...とくだらないことをグダグダ考えてばかりいました。

当時の私は自分自身に価値を見出せませんでした。私が他人であれば、自分のような奴とは関わらないだろうと考えていました。

そんな時でも、両親や友人は何も変わらず、今まで通りに私に接し、そして、悩み、落ち込む私を全力で支えてくれました。例えどんなに辛いことがあろうと、このような人が周囲にいるのならば、人生は幸せなのだと思えました。

そして、自分にはそのような人がたくさんいました。これは、運がいいとしか考えられません。人との出会いは「運」、そのあと関係が続くかは「縁」。これは私の好きな言葉の一つです。人間関係はお互いに分かり合わなければ成り立ちません。しかし、そもそも出会わなければ何も始まらないのです。今まで出会った人に、私に出会つてくれてありがとう。

(ホロニクス総研 木戸晶裕)

●妻と子供たちにありがとう

私は理髪店を営んでおります。父の代から受け継いでいる今の商売にも日々生きがいと親しみを感じる事ができるようになりました。お客様によるこんで頂けることに感謝して仕事を毎日こなしてはいるものの唯一不自由なことがあります。昨年私には三人目の子供がうまれました。仕事の関係で出産から育児まですべてが妻まかせになってしまいました。

休日には私も家族サービスは出来るものの、平日の妻は育児と家事におわれて毎日が戦場のようにとおもいます。仕事で疲れて帰つた私を笑顔で迎えてくれ、あたたかいご食事を用意してくれる妻。疲れた身体を暖かいお風呂でいやしながら子供たちをお風呂にいれる時...。私は幸せだ

なつておもいます。妻にいつもありがとう。そして子供たちに私たちが夫婦に生まれてくれてありがとうと言いたいです。

(横浜市 ダンデーライオン 江尻 雅佳)

●皆さま 明けまして おめでとうございます

日頃からお客様や色々な方からありますがどうの原稿メッセージを集めさせていただいたときにまだ未熟な自分を思い知らされます。

当社はトラブルがある不動産案件を専門取り扱わせていただいておりますが、お客様のありがとうに出会うたびに「すべての利害関係人や権利者の方々がありがとうの気持ちをもっておられればこの世の中にはトラブルはおきかないなあ」と感じる今日この頃です。

先日ある講演でもとても良いお話をうかがいましたのでご紹介させていただきます。  
「半分水がはいったコップがテーブルにあったとします。その水を見たときあなたは次の3つのどちらのタイプですか？」  
①なんだ半分しかないじゃないか。だれが飲んだんだ？  
②半分も残っていても良かった。  
③ああ誰かが半分残しておいてくれたんだな。ありがたい。

因みに、私はいつも①で考えていて、たまに②でなくて③と自分を戒めます。③で考える人間になりたいです。今年もよろしくお願いたします。

●亡くなった妻の友人に…

ありがとう

先日、妻の友人がなくなりまし。ご主人と離婚し女手一つで子供たちを育ててきた彼女でしたが、闘病生活の甲斐もなく逝ってしまいました。五〇代の前半でした。

ふと彼女を思い出せば、私たち夫婦が離婚を前提に喧嘩しているときいつも仲を取りもつてくれ、妻には決して私の事を悪くいわなかったそうです。

彼女のおかげで妻も何となく思い直し、今の我々夫婦があります。いつも周りの事ばかりに気遣いをして自分の事は後回しだったようです。

彼女には高校受験を控えた長男と社会人の長女がいます。気丈な彼女の病床から妻あてに子供たちを案じている旨のメールが来たそうです。今までありがとう。我々夫婦はあなたの生前のあなたの気持ち通り仲良くこれからも生きてゆきます。そしてあなたの子供たちの親代わりとして、

時には厳しく、やさしく見守るからね。本当に今までありがとう。

(ありがとう不動産 豊田泰幸)

●黒人のギャング風な プラザにありがとう

私が学生時代の事です。私は海外に留学していたのですが、その日友人の運転で車で一時間ぐらいのロスアンジェルズに食事にゆきました。

いつもは平坦な10号線を通って私たちの町まで帰るのですがその日にかぎって友人が山越えのコースで帰ろうとお願いされました。

いやな予感がするものの友人は言い出したらとまりません。猛スピードでコーナーを曲がるので私はシートベルトをして踏ん張りました。コーナーが続き大きなコーナー入りしました。ゆっくりと大きく曲がる。スピードがあがって行きます。

ところが。出口でヘアピンのようにさらなるコーナーになっていきます。友人は急激にシフトダウンをしてブレーキを踏みますがもう間に合いません。

車はコーナーをつきぬけ空に舞いました。映画で見るスローモーションのように空を舞う感覚的には時間がゆっくりと過ぎて行き、車は崖下の地面に着地しました。

ドスン！という衝撃とともにエンジンが停止してシーンとした周囲に立ちこめる砂埃とヘッドランプの筋。ランプに映し出される木々。しばらくポートしてドアを開けて外に出てみて唾然としました。車の右側には5メートル以上はあろうかという岩がありました。幸い着地した場所は砂地で車は砂にめり込んでいます。全損まではいたっておりません。

崖をみあげて更にびっくり我々は30メートル近くもタイピングしたようでした。

山道のこと通行量はまばらでまじや不信な東洋人二人で助けを求めるといふことも解らない。当たり前ながら一生懸命手を振り助けを求めますが誰もとまってくれません。

そこに車高を落とす高音量でソウル(黒人音楽)を流しながらコーナーを曲がって来る赤いアメ車が通りかかりました。どうみても不良かギャング風だったのでこれはやばいぞ。このまま見送ろう。と「トーン」としていき、「へい



できます。事情を説明すると二下にガソリンスタンドがある。乗せていってやるよ。」一瞬断ろうと思いましたが、我々のかつこは汚いので彼ら強盗まではしないだろうとびくびくしながらのせてもらいました。

高音量で流れるジェームスブラウン。大柄な二人組は前の席でビールを飲んでいきます。私たちにも勧められます。

ガソリンスタンドに着き、二人は「Big Boy Gas Station」と言い残り高音量で去ってゆきました。ほっとしてレッカー車を手配して現場に戻ってウインチで車を引き上げているとハイウェイパトロールがきました。

「お前達はついてるなあ。あの岩にぶつからなくて良かった。スピード出し過ぎたのがよかつたな。先週も人がなくなってるのさ。魔のコーナー3番っていうんだぜ。ここ。」

帰途につく車のなかでほっとしながらよかつたな。命拾いした。人は見かけによらないんだなど感謝しました。今から三五年も前の学生時代の話です。

(目黒区 加藤鉄也)

●おばあさんと仲人の先生に

ありがとう

私は色々な人に支えられ生きてきました。思えば、二〇代の頃は波瀾万丈な人生でした。今では妻と子供と四人暮らし。とてもしあわせです。

一番目の恩師はもう亡くなってしまいました。四柱推命を見るおばあさんでした。「あなたはお坊ちゃん君だね。人生に選択肢があつたら辛い方を選ぶんだよ。」

相談にゆくと一文無しの苦しいでいた我々夫婦にいつも持ちきれないほどのお土産をくださりました。

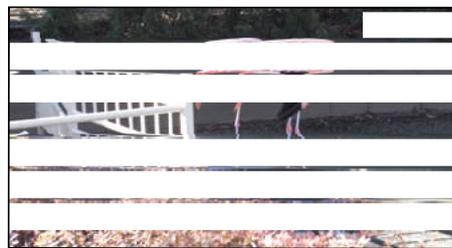
それに一度も鑑定料を受け取られませんでした。今でも実行は出来ない時もあります。人生の指針にしています。

一番目は駆け落ち同然だった我々夫婦の仲人をしてくださった公認会計士の先生、夫婦です。厳しく私に人生を教えてくださりました。お叱りを受けた時は反発しましたが、今となってしみじみと言葉のありがたさを感じております。

色々な方々に支えられて今私たち家族があります。これからは私が教えて頂いたことを子供たちや後輩達に伝える番であると思っております。ありがとうございました。

(横浜市港南区 Y. T)

【携帯 Deショット】園の東板橋公園でフラミンゴが2羽を寝て首を動かして寒風が吹く中、首を動かして寒風の下に埋められて首の物音が少



- 携帯電話の方はQRコードから→→
- パソコンの方は下記のURLから↓
- メールでのご投稿は…

http://1039.seesaa.net/  
info@holonics.gr.jp

【編集・企画】株式会社ホロニックズ総研・編集部

【原稿をお待ちしています。】

本誌は北海道から沖縄までの友人知人から寄せたいだいたい「ありがとう」のことばに因んだ思いつき、短文、詩、俳句、短歌、写真、絵画などを掲載します。作品は編集部までお送りください。投稿いただいた方には「オリジナル」の「ありがとうマガネ拭き」をプレゼントさせていただきます。皆様からのご投稿をお待ちしております。

また、ご自分のお名前や事業所名を刷り込んで、身近な方やお客様に配布していただくのがおすすめです。編集へのご意見やご提案がございましたら是非お聞かせください。

